

災害見舞金 災害見舞金付加金 請求書

東日本大震災及びその影響で発生した津波により、現に住んでいる住居や家財に損害を受けたときに使用するものです。

提出上の注意

1. 請求書の証明欄における「損害の状況」については、出来る範囲で具体的に記載してください。
2. 添付書類
現場写真等参考となるものがあれば添付して下さい。

記入例

稲毛大学の私学太郎さんの住居が、地震による津波の被害を受けた。

加入者番号 04-A-152-123

生年月日 昭和39年10月17日

被災年月日 平成23年3月11日

加入者証に記載されている加入者番号を記入していただく欄です。不明の場合は、省略することができます。

不明な場合は人事課で記入します。

日本私立学校振興・共済事業団

災害見舞金 請求書				災害見舞金付加金 請求書			
13049	01	加入者番号	加入者氏名	生年月日			
13050	01	学校番号	個人番号	39	10	17	
01	04	A015200123	私学太郎				
請求金額	災害の種類	被災物件の区分	被災の程度	被災年月日	交付時期	被災経緯	
	① 住居 ② 家財 ③ その他	① 住居 ② 家財 ③ その他	被災の程度 (被災物件の区分表第14頁)のとおり	平成23	03	11	
上記のとおり請求します。				郵便番号 (980-0000)	TEL	022 (199)9999	
平成23年3月20日				住所 宮城県 仙台市 9-9-9			
日本私立学校振興・共済事業団 理事長 殿				シガフタロウ 私学太郎 (印)			
上記の請求は、事実と相違ないものと認めます。				郵便番号 (980-0000)	TEL	022 (111)1111	
平成23年3月20日				住所 宮城県 仙台市 3-3-3			
学校法人 稲毛大学				代表者 理事長 湯島 一郎			

登録当する年号の番号を○で囲んでください。生年月日は年・月・日ごとに2マス用いて記入し、1マスで足りる場合は前に0(ゼロ)を記入して下さい。なお、他の生年月日の記入方法も同じです。

紛失により加入者の個人印が押印できない場合は、自署(サイン)でも可。学校法人等の代表者印は、代表者個人印でも可。押印できない場合は、その理由を学校法人等の欄の余白に記入してください。

被災によりこの欄に官公署等の証明が受けられない場合は、「後日、り災証明書を提出する旨の誓約書」を添付することにより、省略することができます。ただし、後日状況が整った時点で官公署所定の「り災証明書」を提出してください。(コピー可)

任意継続加入者の場合は記入不要です。

記入しないであらう。

市区町村長、消防署長又は警察署長の証明			
被災者氏名	私学太郎	被災年月日	平成23年3月11日
被災の場所	宮城県 仙台市 9-9-9	被災の原因	東日本大震災
損害の状況及びその程度(できるだけ詳細に記入してください)			
地震による津波で二階建住宅の2階まで水没した。家財については、全損した。			
上記のとおり相違ないことを証明します。			
平成23年3月14日			
署名	仙台市長	氏名	宮城太郎

添付書類 災害状況明細書

東日本大震災及びその影響で発生した津波による被災した方が、災害見舞金を請求するときの添付書類です。

3. 住居・家財の修理費用は損害に含みません。

住居の部(左面)

記入上の注意

1. 住居とは、所有権の有無にかかわらず加入者が日常生活を行っている建物をいいます。(別棟の離れ屋、物置、納屋、門、塀等を含みません)
2. 被害を受けた住居・家財がその後使用可能となった場合は損害に含みません。

わかる範囲で記入下さい。

※総面積は建物部分を記入下さい。

加入者証に記載されている加入者番号を記入していただく欄です。不明の場合は、省略することができます。

被扶養者が別居している場合は、加入者及び別居の被扶養者それぞれの住居・家財を合算したもののに対する損害になりますので、漏れなく記入して下さい。

私学事業団で認定されている被扶養者の有無を記入して下さい。

修理費用ではなく、上記家屋の時価に占める損害部分に相当する金額を記入してください。

具体的に詳しく記入して下さい。記入しきれない場合は別紙(用紙自由)に記入して添付して下さい。

全損の場合は、平面図を記入したうえで、朱色の斜線を引いてください。

日本私立学校振興・共済事業団									
災害状況明細書									
加入者番号				加入者氏名		被扶養者の有無		被扶養者の場合は同居・別居の別	
コード	学種	学校番号	個人番号			有	無	同居	別居
04	A	0152	00123	私学太郎		有	無	同居	別居
加入者の住居				1 自宅	総面積	109.0	家屋の時価	8,000,000	円
				2 借家	被害面積	109.0	家屋の時価	8,000,000	円
				3 借間	構造	木造	形状	二階建	
				4 その他	構造	鉄骨	形状	集合住宅(居住階数)	
別居被扶養者の住居				1 自宅	総面積		家屋の時価		円
				2 借家	被害面積		家屋の時価		円
				3 借間	構造		形状	二階建	
				4 その他	構造		形状	集合住宅(居住階数)	
災害の原因				東日本大震災(地震による) 津波					
加入者の住居平面図				平成23年3月11日発生地震により(津波が発生)家屋・家財ともに(全損した)損害を受けた。					
別居被扶養者の住居平面図				<p>(各部屋の面積又は畳数も記入し、被災箇所を赤線等で明示すること。)</p> <p>1階 全損</p> <p>2階 フロア破損</p> <p>壁面にヒビ</p>					
住所 〒				加入者との続柄					
被扶養者の氏名									

添付書類 災害状況明細書

家財の部(右面)

記入上の注意

1. 損害を受けなかった家財(品物)についても必ず記入してください。(すべての家財)
2. 時価は購入価格ではなく、損害を受ける直前の現在価格で記入してください。
3. 加入者及び被扶養者が所持している家財が対象となります。
なお、加入者が被扶養者以外の者と共用している家財があれば、備考欄にその旨を記入してください。

4. 品目が多くて記入しきれないときは、別紙(用紙自由)に記入してください。

注 ① H23.3.11 地震発生前にあった家財を全て記入
② 地震が損害を受けた家財を記入

品名	総数量	時価	被害数量	被害額	備考(全壊・半壊・修理等の説明)
家具一式	23	500,000	23	500,000	水損(修理不能)
家電一式	20	500,000	20	500,000	水損(修理不能)
衣類一式	120	350,000	120	350,000	水損(修理不能)
書籍	200	120,000	200	120,000	水損(修理不能)
食器	50	70,000	50	70,000	水損(修理不能)
計		1,540,000		1,540,000	

※(参考) 家財全てを記入するのは大変なので、
①については右の記入例のように〇〇一式で。
②については、被害数量、被害額を記入し、備考に損害を受けた物品名と、全損、修理可、半損etcの被害の度合をお書きください。

備考欄に修理の可否などを必ず記入してください。

テレビ 全損
パソコン 〃
電子レンジ 半損(修理可)
照明器具 2 全損

全損・全壊・全滅以外は、金額に差異が生じます。

紛失により加入者の個人印が押印できない場合は、自署(サイン)でも可。
学校法人等の代表者印は、代表者個人印でも可。押印できない場合は、その理由を学校法人等の欄の余白に記入してください。

記入上の注意
1 被扶養者が別居している場合は、加入者及び被扶養者の住居・家財をそれぞれ別々に評価してください。
2 時価は購入価格ではなく、損害を受ける直前の現在価格を記入してください。
3 家財は損害を受けなかったものもすべて記入してください。
4 加入者及び被扶養者が所有している家財が対象となります。なお、加入者が被扶養者以外の者と共用している家財があれば、備考欄にその旨を記入してください。

備考欄に修理の可否などを必ず記入してください。

テレビ 全損
パソコン 〃
電子レンジ 半損(修理可)
照明器具 2 全損

全損・全壊・全滅以外は、金額に差異が生じます。

紛失により加入者の個人印が押印できない場合は、自署(サイン)でも可。
学校法人等の代表者印は、代表者個人印でも可。押印できない場合は、その理由を学校法人等の欄の余白に記入してください。

災害状況明細書

4. 品目が多くて記入しきれないときは、別紙（用紙自由）に記入して添付してください。

家財の部（右面）

■記入上の注意

1. 損害を受けなかった家財（品物）についても必ず記入してください。（全ての家財）
2. 時価は購入価格ではなく、損害を受ける直前の現在価格で記入してください。
3. 加入者及び被扶養者が所持している家財が対象となります。
なお、加入者が被扶養者以外の者と共用している家財があれば、備考欄にその旨を記入してください。

品名	総数量	時 価	被害数量	損 害 額	備考（全焼・半焼・補修等の説明）
		円		円	
寝具	3	75,000	3	75,000	全焼
客用テーブル	1	30,000	1	30,000	〃
靴	40	400,000	40	400,000	〃
ゴルフセット	1	200,000	1	200,000	〃
エアコン	6	800,000	2	200,000	一部焼損
タンス	3	150,000	1	50,000	〃
ステレオ・オーディオ	2	150,000	1	50,000	〃
洋服	100	1,400,000	25	300,000	〃
机	3	130,000	1	20,000	〃
テレビ	3	500,000	1	200,000	一部水損・修理不能
ビデオ	2	160,000	1	80,000	〃 〃
サイドボード	1	120,000	1	120,000	水損 〃
応接セット	1	200,000	1	200,000	〃 〃
ビデオラック	2	90,000	1	50,000	〃 〃
ベッド	2	250,000			
本棚	2	125,000			
書籍	250	390,000			
ダイニングテーブルセット	1	100,000			
食器棚	1	150,000			
食器一式		100,000			
台所用用品一式		150,000			
冷蔵庫		200,000			
洗たく機		70,000			
そうじ機		50,000			
電子レンジ		85,000			
計		6,075,000		1,975,000	

床上浸水 土砂流入の程度 床上浸水期間 最高水位を示した日

CM CM 日間 時間 4 平

上記のとおり事実と相違ないことを報告します。

平成〇〇年 9 月 10 日 (フリガナ) キタムラ アキラ
加入者氏名 北村 彰

上記の報告は、事実と相違ないものと認めます。

平成〇〇年 9 月 15 日 学校法人等名 学校法人 稲毛大学
代表者名 理事長 宮川博史

備考欄に修理の可否などを必ず記入してください。

押印漏れがないように注意してください。

記入上の注意

- 1 被扶養者が別居している場合は、加入者及び被扶養者の住居・家財をそれぞれ別々に評価してください。
- 2 時価は購入価格ではなく、損害を受ける直前の現在価格を記入してください。
- 3 家財は損害を受けなかったものもすべて記入してください。
- 4 加入者及び被扶養者が所有している家財が対象となります。なお、加入者が被扶養者以外の者と共用している家財があれば、備考欄にその旨を記入してください。